燕市職員採用案内

もくじ

03　目指す職員像

04　将来像・重点施策

05　組織図

06　先輩職員からのメッセージ

10　研修制度・人事交流

11　勤務条件・福利厚生制度

12　採用試験・選考

13　ツバメ・ワークスタイル

目指す職員像

市民のために

燕市を愛し、使命感と責任感を持ち合わせた、市民から信頼される職員

経営感覚を持ち

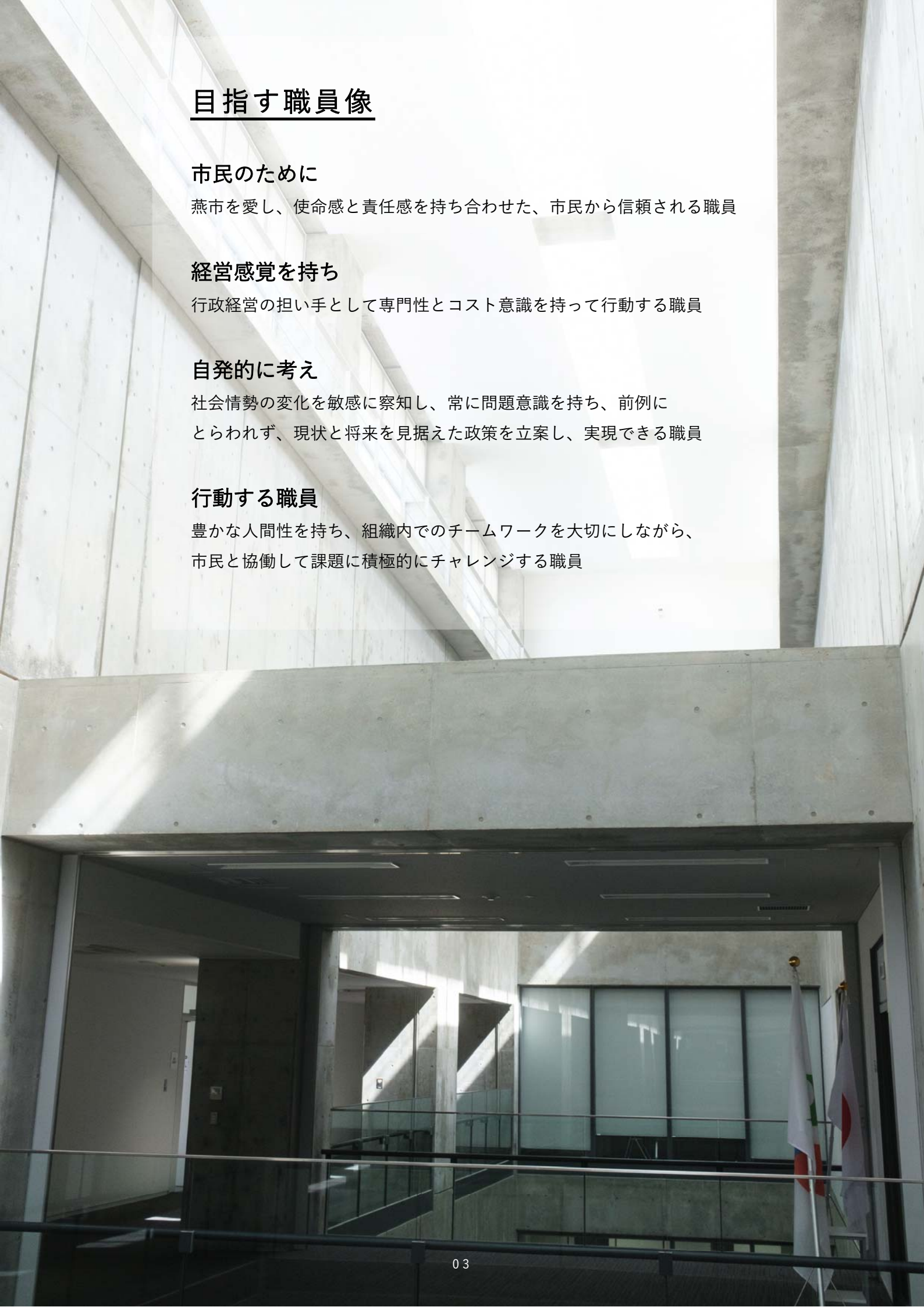
行政経営の担い手として専門性とコスト意識を持って行動する職員

自発的に考え

社会情勢の変化を敏感に察知し、常に問題意識を持ち、前例に
とらわれず、現状と将来を見据えた政策を立案し、実現できる職員

行動する職員

豊かな人間性を持ち、組織内でのチームワークを大切にしながら、
市民と協働して課題に積極的にチャレンジする職員



燕市が目指す将来像

日本一輝いているまち　燕市を目指して

目標実現のための政策

3つの人口戦略

01　定住人口戦略

住みたい・働きたいと思う人を増やす

- 活力ある産業の振興
- 次代につなぐ教育の推進・子育て支援
- 健やかに暮らせる医療福祉の充実
- 地域に根付く移住・定住の促進

02　活動人口戦略

キラキラ輝く人を増やす

- いきいきと輝く健康づくり・生きがいづくり
- つながり、支え合う地域社会の実現
- 一人ひとりが活躍できるまちづくり

03　交流・応援（燕）人口戦略

訪れたい・応援したいと思う人を増やす

- 魅力あふれる観光の振興
- つながりを活かした燕市のファンづくり

令和６年度重点施策

当初予算のポイントをチェック！

令和6年度は、2年目を迎える第３次燕市総合計画や令和5年度までに策定してきた分野別個別計画に基づき、目標の達成に向けてさらに前進できるよう、「4つのアプローチからなる子育て施策のさらなる進化」と「『地域社会のDX』と『脱炭素社会の推進』」を重点に、引き続き「定住人口戦略」、「活動人口戦略」、「交流・応援(燕)人口戦略」の３つの人口戦略を柱に据えた各種施策に全力で取り組んでまいります。

①4つのアプローチからなる子育て施策のさらなる進化

1.ライフステージに合わせた支援制度の充実
2.個性的で子育て目線で整備された子育て施設の充実
3.事業所や地域が連携し子育てを支える仕組みの強化
4.個性を伸ばし人間性を高める教育の推進
　の4つのアプローチからなる子育て施策により
　「子育てするなら燕市で」と評価されるよう取り組みます。

屋内こども遊戯施設建設事業

子育て環境のさらなる充実を図るため、季節や天候に関わらず、子どもたちが体を使って思いっきり遊ぶことができる屋内遊戯施設の建設を進め、令和7年3月の開設を目指します。

②「地域社会のDX」と「脱炭素社会の推進」

感染症拡大を契機とした社会全体のデジタル化、オンライン化の進展に対応するための「地域社会のＤＸ」を進めるとともに、地球温暖化対策につながる「脱炭素社会の推進」に取り組み、次の100年に引き継いでいきます。

「書かない」窓口システム導入事業

住民異動手続きにおいて、転出証明書等の読み取りや、聞き取りなどにより職員が異動届を作成するシステムを導入し、来庁者の記入負担の軽減を図ります。

組織図（令和６年４月時点）

			主な配属職種		
市長	副市長	総務部	総務課	一般行政・事務	
			広報秘書課	一般行政・事務	
			防災課	一般行政・事務	
			用地管財課	一般行政・事務	土　木
		企画財政部	企画財政課	一般行政・事務	
			地域振興課	一般行政・事務	
		市民生活部	市民課	一般行政・事務	
			税務課	一般行政・事務	
			収納課	一般行政・事務	
			生活環境課	一般行政・事務	
		健康福祉部	社会福祉課	一般行政・事務	福　祉 / 保健師
			長寿福祉課	一般行政・事務	福　祉 / 保健師
			健康づくり課	一般行政・事務	保健師 / 管理栄養士
			保険年金課	一般行政・事務	
		こども政策部	こども未来課	一般行政・事務	管理栄養士 / 保育士・保育教諭
			子育て応援課	一般行政・事務	保健師 / 管理栄養士
		産業振興部	商工振興課	一般行政・事務	
			観光振興課	一般行政・事務	
			農政課	一般行政・事務	土　木
		都市整備部	都市計画課	一般行政・事務	土　木
			土木課	一般行政・事務	土　木
			営繕建築課	一般行政・事務	建　築
			下水道課	一般行政・事務	土　木
		会計管理者	会計課	一般行政・事務	
市議会		議会事務局	議事課	一般行政・事務	
選挙管理委員会			事務局	一般行政・事務	
監査委員			事務局	一般行政・事務	
農業委員会			事務局	一般行政・事務	
教育委員会	教育長		学校教育課	一般行政・事務	管理栄養士 / 建　築
			社会教育課	一般行政・事務	学芸員・文化財専門

長寿福祉課 介護保険係 主任

外山 真悠 平成25年度入庁（一般行政）
TOYAMA Mayu

平成25年度	保険年金課 年金医療係
平成29年度	商工振興課 産業支援係
令和元年度	商工振興課 ブランド推進係(育児休業取得)
令和2年度	商工振興課 産業支援係
令和3年度	現所属

しごと 必要としている人へ適切な介護サービスを繋ぐ

私の係では、市民の方が介護サービスを受けるために必要な「介護認定」の申請受付や、認定審査会の運営等を行っています。申請を受けると、専門の調査員による調査資料と、医師から提出される意見書をもとに審査会が開かれ、要介護度の認定が行われます。私たちの業務は、必要としている人へ適切な介護サービスを繋いでいくための、最初の窓口となっています。また、介護認定を受けた方の福祉用具購入費用や手すり等の住宅改修費用の助成、施設入所した際の負担軽減制度の案内等、様々な給付の手続きも行っています。

みりょく 異動は自分を成長させるチャンス

現所属は3か所目になります。「市役所の異動は転職並み」とも言われるように、全く違う分野に配属されると一から学ぶ必要があります。しかし、見方を変えれば様々な経験ができて、幅広い知識を得られるタイミングでもあります。
現に、保険年金課→商工振興課→長寿福祉課と3つの分野の異なる部署を経験したからこそ広い視点で物事を考えられるようになったと感じています。特に商工振興課では、「前例がないからできない」ではなく「どうやったらできるのか、解決できる策はないか」を考える上司や先輩方の姿を見て、柔軟に課題と向き合う姿勢が身に付きました。
公務員に異動はつきもの。入庁して9年目ですが、まだまだ多くの部署を経験したいと思っています。

メッセージ

市役所業務は一見すると地味ですし、一人一人の個人と向き合い、深く関わる業務は残念ながら限られていると思います。ですが、すべての市民の方が安心して日常生活を送るためになくてはならない基盤となる仕事です。縁の下の力持ちとして、燕市で生活し、働くすべての人の毎日を一緒に支えていきましょう。

地域振興課 交流推進係 主事

坂内 未央 令和3年度入庁（一般行政）
BANNAI Mio

令和3年度	現所属

しごと 若者の「まちづくり」をサポート

つばめ若者会議の事務局を担当しています。つばめ若者会議とは、高校生や大学生などの29歳以下の若者が「まち」に関わりながら「まち」の魅力を発見する活動をしている団体で、私はそのサポートをしています。
具体的には、毎月2～3回ミーティングをしており、そこで出てくるメンバーのアイデアと「まち」の人を繋いで一緒にイベントを企画します。企画する内容は、高校生とスポーツイベントを開催したり、大学生とまちあるきをしたりと様々です。
この他にも、私の係ではいろんなイベントを担当しているので、県外にいる燕市出身者と交流会や、婚活イベントや東京ヤクルトスワローズの選手による田植えイベントなどにも関わっています。

やりがい 自分自身も燕の魅力を発見できる

最初は緊張して固い雰囲気だった高校生が、活動をとおして初めてのことにチャレンジして楽しんでいる姿や、「まち」の人と仲良く話している姿を見られるのが嬉しいです。
さらに、自分自身も地域の人とコミュニケーションを取ることが増え、今まで知らなかった燕市の魅力を発見することができます。
どんな仕事も大変なことはあると思いますが、考え方次第で楽しめることも多いと思っています。

メッセージ

市役所には多くの業務がありますが、私の担当している業務は市役所っぽくない業務です。
まずは燕市や市役所で働く職員を知るきっかけとして、「燕ジョイ活動部」に入ってみませんか？同世代の仲間と出会うこともできますよ。「つばめ若者会議」ウェブサイトからお申し込みください。
私たちと一緒に、燕市で好きなことをしながら「まち」の魅力を発見しましょう。

燕・弥彦総合事務組合 総務課 総務係　主事

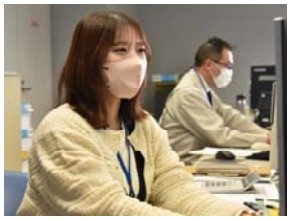
鵜川　真実
UGAWA Mami

令和元年度入庁（一般事務）

令和元年度　保険年金課 年金医療係
令和4年度　現所属

しごと 責任ある仕事に達成感

燕市から出向で、燕弥彦総合事務組合という一部事務組合で職員の給与計算、健康診断などの福利厚生、消防職員の採用業務などを行っています。
職員の給与計算は、大きなお金を扱うので責任も重大ですが、専門的な知識も得られますし給与が無事に振り込まれた時にはほっとすると同時に達成感もあります。
以前、配属されていた保険年金課では、窓口に来られる市民の方を対応することが多かったですが、現在の部署は、市民の方への対応はほとんどなく、対職員の業務を行っています。



きっかけ 生まれ育った地元への貢献

元々燕市出身だった私は大学で県外に出た時に、改めて燕市の魅力を感じました。就職活動をするときには、「地元に恩返しがしたい」「地元で長く働きたい」と思い燕市役所を志望しました。
市役所で働く方々は真面目で固いイメージがありましたが、仕事をするうえで他の部署に相談・報告することも多く、職員同士の会話も多く、良い意味でイメージとは違う面もありました。

メッセージ

地元へ貢献したいと思い燕市役所に入りましたが、実際に働いてみて、 市役所は業務の内容も幅広いですし、部署によって仕事で接する方も変わり、いろんな仕事ができることは、市役所に入ってよかったなと思っています。
いろんな仕事にチャレンジしてみたい方はぜひ、応募してみてください。

都市計画課 空き家対策推進係　主任

船越　信行
FUNAKOSHI Nobuyuki

平成30年度入庁
（一般行政（民間企業等経験者））

平成30年度　農政課 生産振興係
令和3年度　現所属

しごと 所有者の方が納得して先に進むために

空き家を資源と捉え、所有者からバンク登録してもらい、移住定住・利活用に結びつける「空き家バンク事業」を運用しています。
空き家の状態が長く続くと、老朽化による倒壊の危険や防犯面などで地域への影響も大きいのですが、簡単に解決できないところに難しさがあります。家は財産なので、最終的にどうするかは所有者自身が決めなければなりません。所有者の方が納得して先に進めるように対話と提案を重ね、気持ちに寄り添った対応を常に心掛けています。

きっかけ 挑戦を続ける市への挑戦

元々新潟市出身で、約8年間建材メーカーの営業として東北地方を中心に働いていました。結婚というライフスタイルの転機をきっかけに新潟へのUターンを真剣に検討しました。生まれ育った新潟を良くしたいと思っていた矢先、燕市が挑戦を続ける市だと知り、活躍できるフィールドがあると考え燕市を志望しました。
妻にとっては初めての土地で不安もあったと思いますが、充実した生活を送っています。

メッセージ

空き家対策の業務は世の中の動きに合わせて移り変わりが早く、柔軟な対応力やスピード感が求められます。民間企業等での経験がある方は、異分野で得たスキルやノウハウを活かし、広い視野を持って業務に取り組めると思います。

土 木

土木課 管理係 技師

田辺 陽希 令和2年度入庁（土木）
TANABE Haruki

令和2年度 土木課 河川水防係
令和3年度 現所属

しごと 今の業務が今後に活きてくる

主に市が管理する公共用地（道路や水路）と接する土地の境界を確認する業務を担当しています。他にも交通事故で破損したガードレールやカーブミラーの確認、復旧対応など、土木管理全般の業務を行っています。境界立会業務は、現地で資料と実際の土地を照らし合わせて確認する作業ですが、この確認は将来にわたって個人の土地、財産を明確にするものなので、シビアな一面もあります。
土木職は専門職なので、都市整備部と水道局が主な配属先になります。とはいえ、同じ部内でも業務は多岐に渡り、係が変われば仕事も大きく変わります。私はまだ2か所目ですが、異動を経て視野が広がったと実感できますし、境界立会の仕事も後の建設業務の基礎として活かせるよう、日々取り組んでいます。

しょくば 馴染みやすく、相談しやすい職場

私が所属する土木課は比較的若い職員が多く、入庁してすぐに職場に馴染むことができました。また、先輩や上司から常に気に掛けてもらっているので、ちょっとした悩みでも相談できますし、分からないことは丁寧に教えてもらっています。私もいずれは先輩や上司のような頼れる存在になりたいと思っています。

メッセージ

入庁して分かったことですが、プライベートで趣味やスポーツなどに取り組むことができる環境です。部署によって繁閑期は異なるものの、メリハリを付けてワーク・ライフ・バランスの充実を図り、仕事も生活も楽しみましょう。

建 築

営繕建築課 建築指導係 技師

小林 恭也 令和元年度入庁（建築）
KOBAYASHI Kyoya

令和元年度 現所属

しごと あるときは委託し、あるときは自分で

営繕建築課は建築行政と公共工事が主な業務です。公共施設を改修や修繕する場合、施設の所管部署から相談を受けて対応します。設計は基本的に業者にお願いしますが、時には自分で設計図書を作成し、積算することもあります。ほかに住宅リフォーム補助金の申請受付・確認業務を担当しています。

やりがい 利用者の想いを伝えることの大切さ

以前担当した小学校のトイレ改修工事での出来事です。古い施設のトイレは、古いだけでなく、狭くて使いづらいうえに、タイル張りのため衛生面で劣ります。学校側の要望をしっかりと聞いた中で、現在のスタンダードに近づけられるよう設計業者と綿密に打合せを行い、明るく使いやすいものへと生まれ変わりました。結果として、施設を利用する学校側に喜んでもらうことができました。
よりよいものを造るには、業者に任せっきりにするのではなく、計画段階からしっかり関わって利用者の想いが設計に反映できるように「橋渡し」することが重要だと改めて感じました。

メッセージ

建築を学ばれた学生の多くは、民間企業への就職を検討しているかもしれません。しかし、公務員の建築職の業務を紐解くと、建築の仕事もしっかりしながら、それ以外にも幅広く建築物に関わることができます。特に公共施設は多くの人が利用するため、誰もが安心・快適に使えるように維持管理していく必要があります。地方にいながら比較的規模の大きい建築物を扱うことができるのも魅力の一つです。

健康づくり課 健康サポートチーム 技師

笠原 彩音 令和元年度入庁（保健師）
KASAHARA Ayane

令和元年度 健康づくり課 母子チーム
令和3年度 現所属

しごと 様々な年代への「健康づくり」

入庁して最初に配属された母子チームでは、「乳幼児健診」や「育児相談会」を担当しました。現在の健康サポートチームでは、「健康講座」や「介護予防教室」を担当しており、健康診断結果が思わしくなかった方を集めて、運動の方法をアドバイスしたり栄養士の方にも協力してもらって食事面からもサポートできるような個別相談会を行ったりしています。

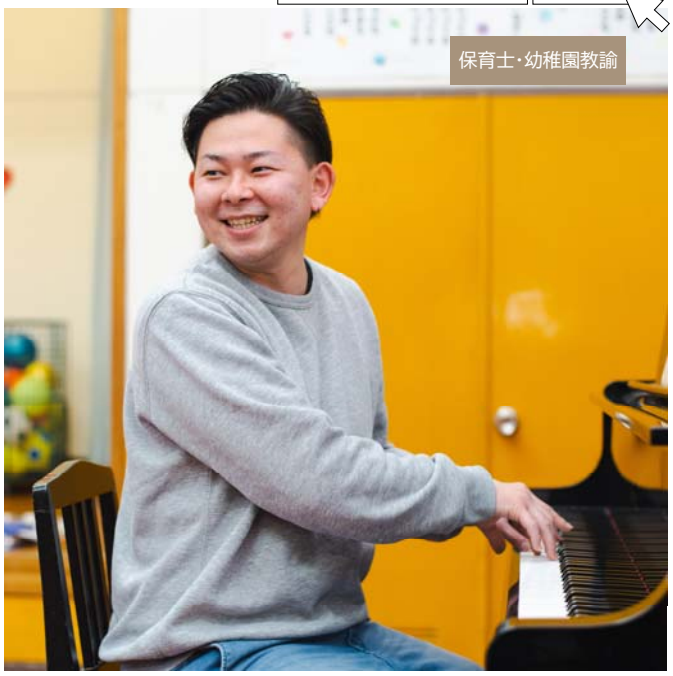
こころがけ 市民に寄り添う

保健師実習でも地域の方が集まる場所に同行させてもらうこともありましたが、いざ仕事をしてみると、自分のイメージする以上に市民の方と話す機会が多いなと感じました。市民の方から「こういうところが良いよね」「もっとこうしてほしい」という生の声がたくさん聴けることが楽しいところです。

保健師の業務の中でいろいろな年代の方から身体のことや心の相談を受けることがあります。そんな時は相手の話を丁寧に聴き、相手が何を相談したいのか、相談者が大切にしていることを考えながら、市民に寄り添った対応を心がけています。

メッセージ

私は燕市外の出身ですが、就職活動や保健師実習をとおして、「元気磨きたい」などの燕市が市民協働で健康づくりに取り組んでいることに魅力を感じ、燕市役所に入りました。
今は健康づくりの幅も広がってきていると感じています。
これから燕市役所を目指す皆さんと一緒に市民の方が健康になれるような仕組みづくりを考えていけたらうれしいです。



こども未来課 藤の曲保育園 保育士

後藤 勇紀 令和2年度入庁（保育士・幼稚園教諭）
GOTO Yuki

令和2年度 現所属

しごと 4歳児は心が大きく成長する大切な時期

4歳児15人のクラス担任をしています。4歳児は心が大きく成長する大切な時期です。友達との関わりが広がり、協調性や社会性も育っていきます。子ども達の遊びを見守りながら、必要があれば間に入り、お互いの気持ちを伝えたり、相手の気持ちに気付けるような関わりをしています。また、生活習慣を見直し、年長クラスに向けて準備をしています。

関心のあった外部研修がいくつかあり、園から参加させてもらいました。工夫しながらクラスに取り入れ、子どもたちの成長に還元することができています。

やりがい 子どもに向き合い、子どものために考える

採用される前は、関東圏、県内他市の私立、公立の保育園で勤務していました。その経験から感じるのは、燕市は「子どもの気持ちに寄り添える」環境だということです。毎日バタバタしていますが、それでも子どもに向き合い、子どものために考える時間を持つことができています。そして、今自分がやっていることは誰のため、何のためなのか考えたときに、子どもたちのためだと素直に感じることができます。どの園も職員は忙しいと思いますが、子どもののびのびした姿を見ることができるのは魅力だと思います。

メッセージ

燕市ではまだ一つ目の園ですが、とても温かい職場で、頼れる先輩・同僚の先生方がたくさんいます。ある時、私が家族のことで少し話しをしたら親身になって相談にのってくれたことがありました。保育士・幼稚園教諭を目指す学卒の方が一歩目を踏み出すにも良いですし、幾つかキャリアを積んだ方にとってもやりがいを感じられる職場だと思います。

研修制度・人事交流

庁内研修

目指す職員像を実現するため、庁内研修を通じて資質向上と意識改革に取り組んでいます。
例：接遇力向上、実務データ分析、公文書作成、メンタルヘルス

派遣研修

複雑・多様化する市民ニーズに対応できる高度な専門的知識を備えた職員を育成するため、外部研修期間に職員を派遣しているほか、2年程度の長期派遣として国や県に職員を出向・派遣しています。

令和5年度の主な人事交流（派遣実績）

関東経済産業局、北陸地方整備局、新潟県、新潟県後期高齢者医療広域連合

階層別・専門研修（研修所）

在職年数や役職に応じて受講する階層別研修や、各分野において必要な事務基礎能力を養う専門研修を実施しています。一部の研修は職員の希望により研修を受けることができ、能力の向上やキャリア形成に繋がっています。
例：税務事務、財務事務、民法、法制執務、政策形成

新採用職員研修

他市町村と合同で実施する「新採用職員研修」の他、行政実務を行う上で必要な能力が身に付くように独自のカリキュラムを作成し、入庁後スムーズに業務が行えるように工夫しています。
「文書管理」「予算・決算、財務事務」「公金管理」などの座学中心の科目に加え、「接遇力向上・電話応対」「防災（宿泊）」など、実践力が修習できる研修を導入しています。

実務データ分析研修（庁内研修）

一泊二日の研修で同期の絆を深めることができました！

防災研修（新採用研修）

市長が講師となり、将来の燕市役所を担う職員の育成する自主勉強会です！

市役所長善館研修（自主研修活動）

長期派遣者の声

経済産業省 関東経済産業局へ派遣

青木 優介 平成30年度入庁（一般行政）
AOKI Yusuke

平成30年度　長寿福祉課
令和3年度　商工振興課
令和4年度　経済産業省 関東経済産業局
地域振興課　地域企業支援室

官民協力して、企業の収益力向上に取り組む

関東経済産業局は、経済産業省の地方ブロック機関の一つであり、広域関東圏（1 都 10県）が担当地域となっています。 地域振興課では地域経済の基盤形成・活性化支援を目的として、自治体や支援機関と連携しながら産業振興のサポートを行っています。

私が所属している地域企業支援室では、地域経済を牽引する中堅中小企業等の収益力向上と雇用創出を図るべく、関東経済産業局職員（官） と様々なキャリア・知識を持つ専門家（民）で「官民合同企業支援チーム」として伴走型支援に取組んでいます。

企業支援とは言いつつも、専門的な支援ができるわけではないため、企業との日程調整や報告書の作成といった事務作業が主な仕事です。 対企業の前に、専門家の知識や手法を理解することに必死ですが、実際の企業支援の現場を体感できることは大きな経験だと感じます。素人目線での意見しかできないですが、その一言でも企業に気づきを促せたときはやりがいを感じます。

勤務条件・福利厚生制度

初任給（令和6年4月1日現在）

試験区分	学歴	給料月額
大学卒業程度	大学卒	196,200円
高校卒業程度	短大卒	179,100円
	高校卒	166,600円
民間企業等経験者	民間企業等における職務経験年数及びその職務内容に応じ、個別に決定されます。	

※新規学卒者を例にとったもので、学歴がある場合や職歴がある場合、一定の基準に基づいた額が加算されます。

期末手当・勤勉手当

民間企業のボーナスにあたるもので、給料月額等の1か月分をベースに年間4.5月分（※令和5年度実績）の期末・勤勉手当が支給されます。（採用初年度については、実際に勤務した期間によって異なります。）

諸手当

家族の状況・住まいの状況・通勤状況・勤務状況などに応じて、扶養手当・住居手当・通勤手当・時間外勤務手当などが支給されます。

福利厚生

職員とその家族の福利厚生の増進を目的に、共済組合や互助会があります。健康診断や各種健診の補助制度、スポーツ・文化活動のための助成制度のほか、貸付事業や結婚祝金・弔慰金等の給付事業、財形貯蓄、団体保険などがあります。

勤務時間・休日

午前8時30分～午後5時15分（昼休みは正午～午後1時）
休日は土曜日・日曜日、祝日、12月29日～1月3日です。
職種や配属される職場によって異なる場合があります。

育児休業取得者の声

男性の育児休業取得が話題になっていることや、周りの人からも「産後の女性は不安定になりやすいから、サポートしてあげてほしい」と聞いていたことから、産後すぐに育児休業を取得することにしました。

休暇など

年次有給休暇は年度で20日間付与されます。使用しなかった日数は翌年度に20日を限度として繰り越すことができます。
その他、ライフステージに応じた休暇なども充実しています。

【主な休暇の例】

休暇区分	燕市	国家公務員等
結婚	8日	5日
出産	産前8週・産後8週	産前6週・産後8週
妻の出産	3日	2日
子の看護	8日(中学校卒業まで)	5日(小学校就学始期まで)
夏季休暇	5日(6～10月の間)	3日(7～9月の間)

※育児休業制度、介護休暇制度、自己啓発休業制度、ボランティア休暇制度などもあります。

キャリアデザイン

燕市では採用区分・職種・学歴・年齢・性別等にとらわれることなく、職員の意欲や能力、実績に基づき昇任を実施しています。
例えば、一般行政職では主事→主任→（主査）→係長→（副参事）→課長補佐→（参事）→課長→部長となります。早い人で30歳で主任に昇任します。

異動

毎年4月に定期人事異動を行っています。異動サイクルは職種によって異なりますが、3～5年サイクルでの異動を基本としています。特に一般行政・事務職については、人材育成の観点から幅広い仕事を経験するために、採用後10年間で3か所程度の部署を経験できるように配慮しています。その後はキャリアプランや適性を重視した異動を実施しています。
職員が自己の能力を最大限発揮し、適材適所の配置を推進するため、毎年10月に異動の希望などを書く自己申告制度があります。

総務課　情報統計室　主任

板橋　洋祐　　平成24年度入庁（一般行政）
ITABASHI Yosuke

平成24年度　商工振興課　産業支援係
平成27年度　社会教育課　公民館事業係
平成29年度　学校教育課　総務企画係
令和2年度　地域振興課　交流推進係
令和5年度　現所属

短い期間ではありましたが、育児の楽しさ・大変さを味わったのはもちろん「思っているより自分ができることは多い」と感じました。
育休は、今後の家事・育児などにつて夫婦間で向き合い、じっくり話し合ういい機会になりました。

採用試験・選考

令和６年度燕市職員採用試験・選考スケジュール（予定）

試験区分	試験案内公表	申込受付期間	１次試験	２次試験	最終試験	最終合格発表
前期日程 一般行政職（大卒）	3月20日(水)	3月20日(水)～ 5月7日(火)	5月中旬～ 5月下旬	6月下旬～ 7月上旬	7月下旬～ 8月上旬	8月中旬
前期日程 専門職・資格免許職				-	6月下旬～ 7月上旬	7月中旬
後期日程 高卒程度・専門職	7月下旬	7月下旬～ ８月中旬	9月中旬	-	10月下旬	11月中旬
後期日程 一般行政（民間経験）			8月下旬～ 9月上旬	10月下旬	11月中旬	11月下旬

※上記の日程は予定であり、変更になる場合があります。また、採用職種及び採用予定人員は、ホームページ及び試験案内でお知らせします。
※試験案内は燕市ホームページからダウンロードすることができます。

採用試験・選考に関するQ&A

Q1 どのように申し込めばよいですか？

申込みはインターネットで受け付け、燕市ホームページから専用のフォームにアクセスできます。

Q2 １次試験で行われる筆記試験は専門試験・教養試験ですか？

燕市では、専門試験・教養試験型ではなく、民間企業等の採用試験でも活用されている基礎能力試験型の試験を実施しています。（土木（高校卒業程度）の職種を除きます。）

Q3 大学を卒業していなくても「大学卒業程度」の試験は受験できますか？

「大学卒業程度」は大学卒業の学歴を受験資格とするものではありません。年齢等の受験資格を満たしていれば学歴に関係なく受験することが可能です。

Q4 受験にあたって居住地、出身校、性別、職歴などによる有利・不利はありますか？

受験資格を満たしていれば、どなたでも受験でき、合格者は試験・選考の結果のみで決定しているため、有利・不利が生じることは一切ありません。

Q5 採用試験に合格すると必ず採用されるのですか？

採用試験の最終合格者に入庁の意向確認を行い、合格者が応諾すれば採用となります。（応諾から採用までの間、採用するにふさわしくない非違行為等があった場合を除きます。）

数字で見る燕市役所

職員数
令和5年4月1日現在
619人

男性職員の育児休業取得率
令和4年度
71%
5人が取得

管理職に占める女性職員の割合
令和5年4月1日現在
37.8%

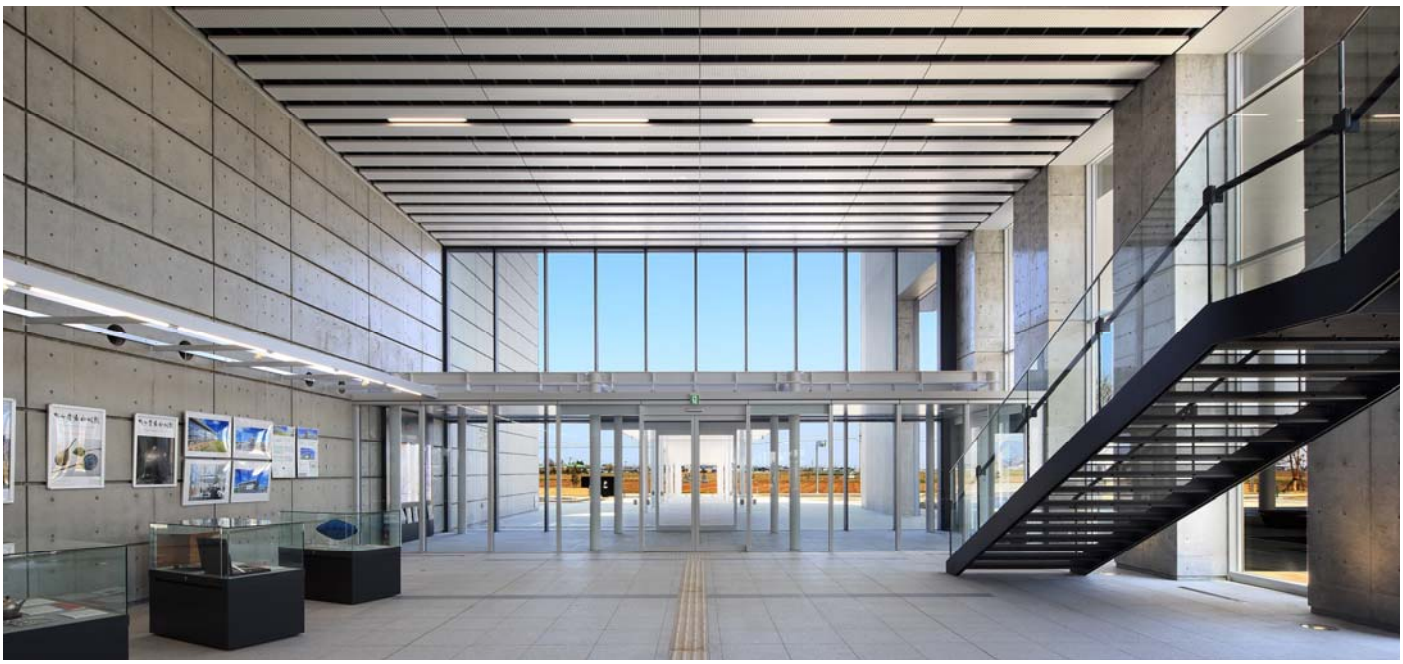
産前・産後休暇
女性のみ
計16週間
産前8週、産後8週

男女比率（一般行政職）
令和5年4月1日現在
男性56% 女性44%

年次有給休暇取得日数
令和4年度（平均）
11.1日

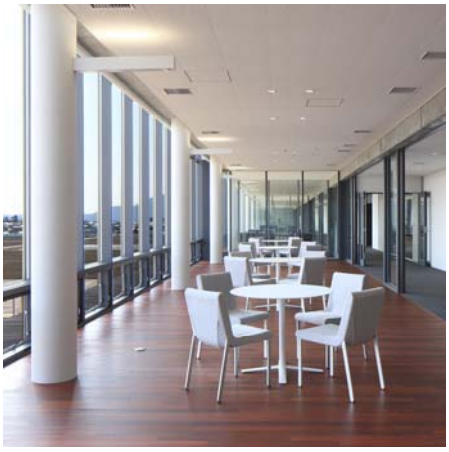
夏季休暇日数
5日
6～10月までの5か月間に取得可能

ツバメ・ワークスタイル



エントランス

オープンフロア構造



４階スカイラウンジ（市民と共用）

一人に１台貸与されるタブレットパソコン

職員の職場環境

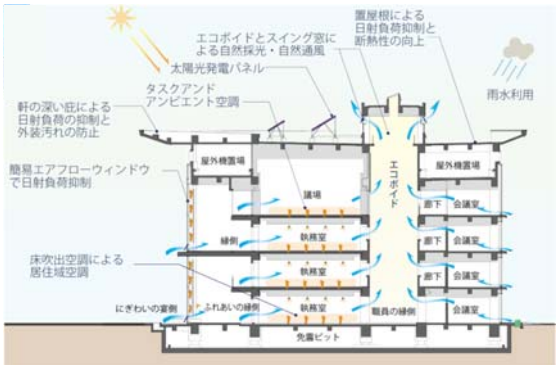
平成25年に現在の燕市庁舎に移転し、それまで燕、吉田、分水の分庁方式だったものを統一しました。市庁舎は市民が自然に集い、気軽にくつろげて交流することのできる造りになっています。

環境にも配慮し、自然の風と光を取り込む吹き抜けや自然喚起窓があり、太陽光発電パネルを設置し、LED照明を全面的に導入するなど、SDGsにも積極的に取り組んでいます。
各階とも開放的で視認性の高いオープンフロア構造で、執務室はユニバーサルレイアウトを導入し、部署の垣根を越えて連携しやすい空間です。来客や職員同士でちょっとしたミーティングをする場合は、各階の打合せスペースで行います。

職員は一人１台タブレットパソコンが貸与され、普段はモニターに接続して使用します。会議の時は庁内に完備された無線環境を活用し、タブレットパソコンをそのまま会議室に持ち込みます。ペーパーレス化が進み、ワークスタイル改革に繋がっています。

庁舎の防災拠点機能

庁舎は市民を守る防災拠点としての機能も備えています。建物の地下部分は免震構造になっていて、大地震時にも業務を継続することができます。塔屋階には非常時における非常照明、給排水設備の機能を確保するための電源を確保し、発電機用の燃料を備蓄しています。



設計時の庁舎環境計画資料より

新 潟 県 燕 市
TSUBAME CITY

問　合　せ　先

燕市 総務部 総務課 人事係
〒959-0295　燕市吉田西太田1934番地
TEL：0256-92-1111（代表）
　　0256-77-8318（人事係直通）

燕市公式ウェブサイト
https://www.city.tsubame.niigata.jp/

職員採用

職員採用に関するページ
https://www.city.tsubame.niigata.jp/keikaku/jinji/2/index.html

令和6年3月20日公表